

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年六月度 入選句 (投稿総数千九百七十七句・一般投句数五百八十二句)

特選 選者 田中青志

風五月ジャングルジムのてっぺんに 大垣市 名和 よちゑ

何とかと煙は高い所が好きとか、いいじゃないですか、高い所。殿様気取でこの世を見廻す、いつべんに偉くなったような気分です。風は五月こういうのを風薫るって言うのだと実感するひと時であります。

草も木も雨も匂ひて蝸牛 大垣市 森 芳昭

梅雨もまた楽しからずやでしょうか、雨が欲しいと思ふとき雨が降り風が欲しいときに風が吹くことはなかなかありませんが、梅雨もまた天地に潤いをもたせる自然の現象とあらばそれに順応するのもこの世でのあり方なのです。

水匂う町がふるさと燕の子 愛知県東海市 斉藤 浩美

水の都大垣で生を享けたつばめくん、あなた幸せですよ、これから毎年やってくる楽しみ、このきれいな水の匂う街なのがいいではないですか、このきれいな街が君のふるさととはいいい表現をしていただきました。いいつばめに育つことでしょう。

秀逸

風鈴をゆらして一つ買ひにけり 不破郡垂井町 富田 実郎

父の日や施設の父のきれいな手 養老郡養老町 田中 紫香

園児みなチュウリップ好き唄が好き 福井県福井市 三ツ山 ひろし

かたつむりあめのしずくのイヤリング 大垣市 森内 奈央

植え終へし田ごとの畦のくつきりと 大垣市 森 芳昭

走り梅雨傘屋の膝に修理傘 安八郡輪之内町 野村 照子

茶道部は女ばかりや柏餅 大垣市 名和 よちゑ

豆ごはん皮むく役を引受けて 大垣市 杉山 よし子

堰切ったやふに泣く子や麦の秋 大垣市 末守 節子

雨降る日春逝く日かな写真撮る 愛知県岩倉市 石川 うしゆ

バスに描く信長公や青葉風 大垣市 久保田 悟義

入選

形よく鱒焼け妻の置手紙	東京都世田谷区	関戸	信治
初蛭姑の逝きし日近づきぬ	大垣市	山田	千歌子
しとしとと雨あぢさるは彩深め	大垣市	尾関	逸子
蝸牛しゃがんだ子らの目が光る	大垣市	谷	彩虹
新緑の木陰翁の笠と杖	大垣市	伊藤	鈴子
大垣の湧水まろし夏日影	愛知県日進市	西村	久子
青梅のころがり雨に打たれをり	大垣市	春日井	博
風向きに乗りて聞ゆる祭笛	不破郡垂井町	久保田	紘義
若葉風ふわりと乗せる紙飛行機	不破郡垂井町	小竹	政子
柿若葉児に還りゆく母が待つ	不破郡垂井町	小竹	政子

入選

たて髪のやうな水草夏の川	三重県桑名市	森	美音
取れさうな鉦気になる街薄暑	大垣市	矢橋	郁子
湧水の水面にうつる若葉かな	愛知県名古屋市	石原	吉彬
育みし蛭の羽化に子等騒ぐ	大垣市	村田	通夫
草とりのふと手をとめてすみれ草	大垣市	竹野	美咲子
香りにも気品ありけり白牡丹	大垣市	佐竹	幸子
子燕ら巢の見えぬほど口開けて	大垣市	日比野	友子
紫陽花や昼を灯して地藏堂	安八郡神戸町	高橋	日出美
花棟風むらさきに黄昏る	大垣市	岡田	あや子

選者吟

くろぐろと後ろに山や夕蛙